

赤潮・貧酸素情報（１３）

平成２７年１１月２５日

各漁業協同組合長 殿

福岡県水産海洋技術センター
豊前海研究所長

１１月２４日に調査を行った結果、井之浦港でヘテロシグマ アカシオ（*Heterosigma akashiwo*）による赤潮の発生が確認されました。

○ヘテロシグマ・アカシオ細胞密度

11/25調査結果

番号	採水場所	採水層 (m)	ヘテロシグマ・アカシオ (細胞数/海水1ml)
①	井之浦港	0	10,290

○ヘテロシグマ・アカシオは、春から秋に発生し、10,000細胞/ml以上で魚がへい死することがあります。

○漁獲物の港内での蓄養は避け、早めの出荷を心がけてください。

○今後、天候次第ではさらに増殖する可能性がありますので、着色が認められていない港でも十分注意してください。

○漁業被害状況については調査中です。

○研究所では、引き続き調査を実施しますので、今後の赤潮情報に十分ご注意下さい。

今後、漁業被害、海面の着色などがみられましたら、豊前海研究所（0979-82-2151、担当：俵積田、野副）までご連絡下さい。

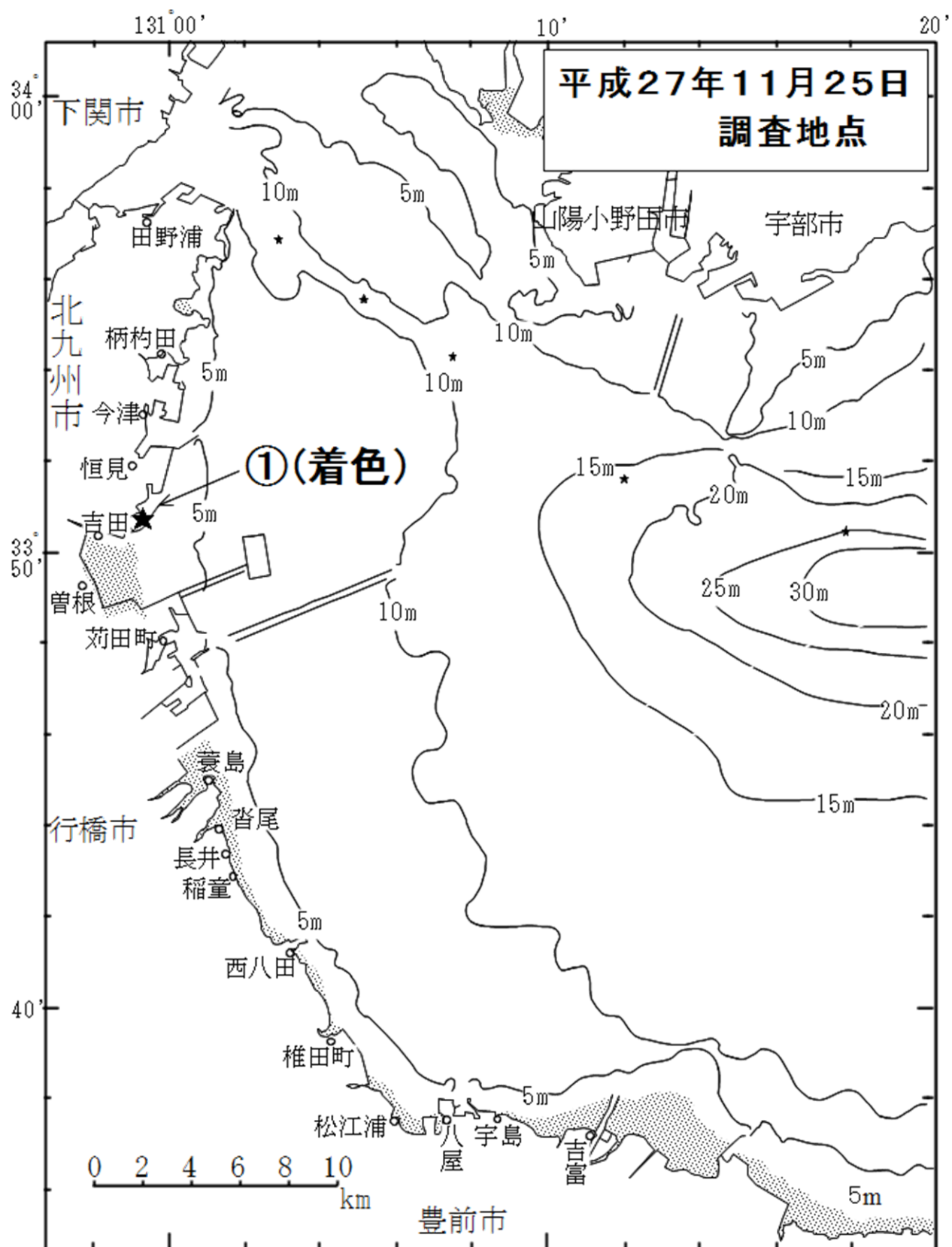


図 赤潮発生海域図